

あいあいあい

I eye 愛

2017年
12月号



組合員が自ら農業にふれる機会を大切に

理事 成澤菜穂子

あいコープは、さまざまな形で組合員の農業体験の場を設けています。毎年恒例の「畑に行こう!」や「田んぼに行こう!」などの企画では、多数の参加申込みがあり、組合員の農業体験に対する関心の高さがうかがえます。

これまで体験イベントの他にも、『農』に関する連続講座を開催したり「あい農委員会」を立ち上げて産直産地の援農活動を行うなど、組合員が農業に自ら関わる機会を作ってきました。今年は、「産地の四季の変化を見たい。」「農作業を手伝いたい。」という地区委員会の思いを生産者が受け止める、組合員が自分たちで野菜を作る場を提供していただき、例年になく新たな形の農業体験が始まりました。

しおさい地区は大郷みどり会と一緒に田植えや、25mプール約2つ分の広大な畑でサツマイモを栽培し、無事に収

穫を迎えました。また、若林区では七郷みつば会の細谷さんの指導で畑仕事に取り組んでいます。生産者と組合員のコラボレーションということで「コラボ畑」と命名された畑では季節ごとに様々な作物が育てられています。

現地の空気や土に触れ、生産者と会話をしながら一緒に作業をすることで、※優ぶらんど基準を目指す苦勞を知り、出荷までの様々な作業など、私たちの手元に届くまでには大変手間が掛かっていることを実感しました。

私たちの農業体験は実際の作業のほんの一端ではありませんが、生産者との交流を重ね、普段から産地と食卓の繋がりを意識する組合員を増やしていきたいと思えます。そしてこの体験を通して、大人も子どもも、生業の対象として『農』に興味を持つことも大切な目的のひとつです。

※優ぶらんど...あいコープ栽培基準に定める「あいコープ使用禁止農薬」を使用せずに生産された農産物（生協による二者認証が取得条件）

CONTENTS

- ▶ あいコープの品質管理 ...2
- ▶ もんじゅ見学報告 ...3
- ▶ Wa! わあ祭り報告 ...4-5
- ▶ 職員の石けん学習会報告 ...6
- ▶ 仙台パワーステーション学習会報告 ...7
- ▶ 生産者さんにあいに行こう! 平田産業編 ...8

あいコープの品質管理



9/15 生産者と商品部で食品表示学習会

工場点検とGAP点検 2017

あいコープが開発し販売しているプライベートブランド(PB)商品の製造委託先に対して、商品部の担当職員が定期的に工場点検を実施して、製造段階における食品安全・品質管理の有効性を確認しています。工場点検には必要に応じて品質管理の専門家も同行しています。今期は、主要商品の生産者、並びに新工場、新商品開発を行った工場の点検を行いました。商品部職員は点検に必要な知識を得るために食品表示検定の受験や、専門家による同行指導を受けて、力量向上に努めています。

農産品についてはGAP点検をおこなっています。GAPとは Good Agricultural Practice (農業生産工程管理)の頭文字で、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等を確保する生産工程管理の取組のことです。



食品工場点検

日程	生産者名	製造(委託)商品
5/26	片山食品	りんごのドリンク・ぶどうのドリンク
6/29	趙さんの味	チャブチエ・焼肉のたれ・キムチ
7/27	渡邊水産	どんちっち
7/29	別所蒲鉾	ちくわの磯部揚げ
8/3	リアス(和気食品)	海藻たっぷり根菜入りみそ汁の具
8/10	東北トクスイ	しまほっけ黒糖みりん漬
8/10	丸山	食肉
9/7	まるしょう	食材セット(飯)
9/14	わ・は・わ	わはわの苺ジャム
12月(予定)	花兄園	鶏卵
12月(予定)	奥羽乳業	放牧パスちゃん牛乳、ヨーグルト
9/14	菅野食品	豆腐・手あげ油揚げ
9/21	鎌田醤油	醤油・味噌・めんつゆ
11月(予定)	パン工房わ・は・わ	パン
来春予定	わ・は・わ大衡新工場	米粉の焼きドーナツ



GAP点検

日程	生産者名	品名	点検項目
6月30日	迫NF	米穀	米倉庫点検
年内(予定)	みつば会	野菜	栽培管理
年内(予定)	みどり会	野菜	栽培管理
年内(予定)	はさま自然村	野菜	品質管理
年内(予定)	みどり会	米穀	精米所点検
年内(予定)	みつば会	米穀	精米所点検
年内(予定)	迫NF	米穀	精米所点検



あいコープみやぎは2008年に食品安全マネジメントシステム※1 ISO22000の認証を取得しました。以降、生活協同組合としても、無店舗宅配という業態としても前例の少ない中で、食品製造メーカーや生産者から商品を仕入れ、食の安全性を確実に保ち、食の安全性を確実に保つ組合員の皆さんにお届けするために、独自のモニタリングシステムを構築してきました。毎年ISO認証団体による外部審査を受けて、品質管理の管理運営

方法の向上に取り組みんでいます。特に大切な事として、メーカーや生産者との信頼関係を大切にすることと同時に、緊張感を保ち協同で食の安全性を確保していくことを重視しています。具体的には、世界的に導入が進められ日本でも義務化が検討されている※2「HACCP」の手法をベースにPB商品の委託製造先に対し行う工場点検、福島第一原発事故による残留放射能の自主検査の継続、農産品のGAP点検、そして年

1回、職員同士で行う内部監査システム等です。また、各部署の責任者が参加する「業務品質向上委員会」を毎月開催し、組合員から寄せられるお申し出や要望の分析と対策、品質管理や業務ミスの発生状況把握と改善対策などを行っています。これら品質管理の取り組みは、今後も継続し食品の安全と安心をよりレベルアップしていきます。

総務部長 大滝満雄

※1 ISO22000

農業や漁業といった原材料(一次産品)から食品の製造・加工、途中の運送や小売り、食卓まで、フードチェーンに関わるすべての過程において食品危害を防ぐための仕組みに必要な事項を定めた国際規格です。

※2 HACCP

原料の受け入れから最終製品までの各工程で微生物の汚染や金属の混入などの危害要因を分析し、危害防止の重要管理点を定めて継続的に監視記録する工程管理のしくみです。

廃炉決定の高速増殖炉「もんじゅ」見学ツアーに参加しました。

核燃料サイクルを含めた すべての原子力発電政策に NO と言おう



高速増殖炉もんじゅ (福井県敦賀市白木)



もんじゅ廃炉決定に伴う全国集会



もんじゅPR館

11月5日から6日にかけて福井で行われた『六ヶ所再処理工場に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク』主催のもんじゅ廃炉見学ツアーに、あいこーぷみやぎから6名が参加しました。高速増殖炉の実証炉もんじゅは、1970年に設置されることが決まり、1995年8月発電開始、同年12月にナトリウム漏洩事故を起こし、さらに重さ3.3トンもある装置を原子炉容器内に落下させて運転が止まっていました。そして2016年12月21日、日本政府が廃炉を正式決定しています。

原発の稼働によって増える一方の使用済み核燃料。それを再処理(ウランとプルトニウムを取り出して加工する)し、普通の原発、及び高速増殖炉でもう一度燃料として使おうというのが核燃料サイクルです。それまで使った以上の燃料ができるとした夢の高速増殖炉もんじゅは、31年間に及ぶ月日と1兆3千億円を越す多額の税金を浪費して本格運転することなく廃炉となりました。これは反対運動を続けてきた市民の熱意と行動の結果です。しかし、廃炉作業が予算通り、30年間で終わる確証はありません。『廃炉が決まっても廃炉が見えない』つまり廃炉の手順すらはっきりしない、きれいに無くすることができるのか不透明である、それが原発です。

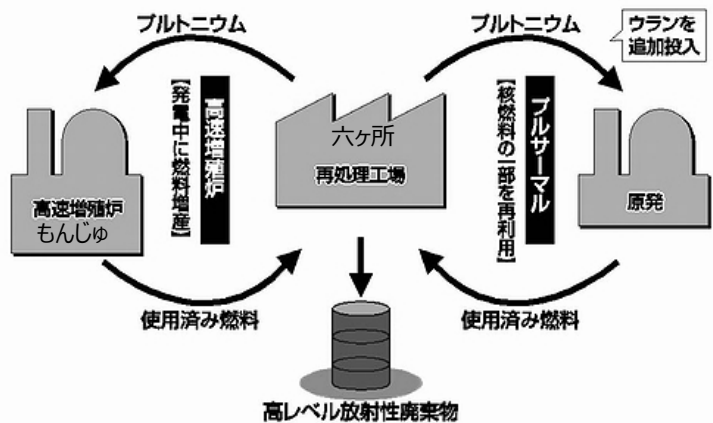
私たちは地元でもんじゅの廃炉を求めて活動をしてきた「原子力発電に反対する福井県民会議」が開催した集会に出席した翌日、狭い敦賀半島の3ヶ所に集中して立っている原発『美浜』『敦賀』そして『もんじゅ』を見学し、その危険性と問題点を目の当たりにしました。この3地点は実に近い場所にあり、まさに、ひしめき合っている原発銀座。この地域の原発に事故が起こったら、偏西風によって福島原発事故以上に日本が、世界が汚染される可能性があります。

宮城県には現在再稼働を目指している女川原発があります。原発だらけの敦賀半島をはじめ、地震列島日本を原発列島にしてしまった今、次の世代への責任を思い、全ての大人たちが原子力発電政策にNOと言わなければなりません。



美浜、敦賀、もんじゅ。車で1時間ほどあれば3ヶ所を回れる距離にある。

核燃料サイクルの仕組み(概略)



美味しい！楽しい！大好き！あいコープ

Wa!わあ祭り

当日の新規加入者 18名！
さらにあいコープが広がりました！

来場者 1500名！

組合員と生産者が協同で創るお祭り「Wa!わあ祭り」はあいコープみやぎの名称変更前、生活協同組合仙台共同購入会の設立10周年を記念して1989年に始まりました。生協設立以来掲げている「食の自給と安全・自然環境保全・地域福祉推進」という理念を生かしたお祭りしたいとの思いから、人と人との輪(わ)、人と自然との和(わ)、その二つの「わ」から「Wa!わあ祭り」が誕生し、毎年開催しています。

10月29日(日)、『サンフェスタ』に於いて、Wa!わあ祭り2017を開催しました。当日は台風の影響で大雨と強風に見舞われましたが、屋内開催という事もあり、来場者はゆっくりと買い物や生産者との交流を楽しんでいました。来場者数は約1500名、当日加入者は18名であいコープの輪がさらに広がりました！！



広々とした飲食スペースでゆっくりお祭りを楽しむ来場者

生産者と地区委員会のコラボブース



新商品「あいコープの手揚げ」
菅野食品と青葉 A 地区



アイデアを出し合って完成させた
お祭り限定おでんセット
高橋徳治商店と青葉 B 地区



コラボ畑で収穫したさつま芋
農作業を通して発行した
「さつま芋新聞」「米新聞」
大郷みどり会とおさい地区



新イベント



バルシステム電気/手動発電でブタさんレース



NPO 法人とうほく食育実践協会メンバー
会社による生産者トーク企画「お話カフェ」

あいコープにくしき



時短・増量・コラボメニュー
自慢のカボナータ丼

初参加ブース

- ・千葉産直サービス ・原木椎茸 芳賀さん
- ・士別農園 ・水野食品
- ・ひっぽ電力 ・バルシステムでんき



あいぷらんど 認定式



2017年度は4品が『新あいぷらんど商品』に認定されました。1つ目は鎌田醤油の『こだわりの万能つゆ』で、国産丸大豆醤油を使用した味わい深い一品です。2つ目は登米市の芳賀裕さんの『生椎茸(原木栽培)』で、肉厚で薫り高い椎茸です。3つ目は田尻あいちゃん牧場の『こめ豚』で、地元の飼料米を配合した餌をたべさせた、柔らかくうまみのある豚肉です。4つ目はパン工房わはわの『みんなのiパン』で、組合員の声をいかして開発された商品でふんわり優しい味わいです。ぜひ新あいぷらんど商品の4品を味わい、応援していきましょう。

実行委員長から



星恵 実行委員長

生憎の雨にも関わらず多くの組合員が家族連れで来場し、会場は熱気に包まれました。いつものお気に入り商品も、試してみたかった商品も、実際に手に取り試食で味わうことができる絶好の機会とあって、生産者においておいしい食べ方や商品説明を聞きながらお買い物を楽しむ来場者で、会場であふれました。県内3産地(大郷みどり会/七郷みづば会/はさま自然村)の炊きたてご飯に、他のブースの生産者イ千押し商品をのせた自分好みの「のっけ丼」を楽しむ家族連れもいました。地区ごとに生産者

交流と商品学習を進めてきた委員たちは、生産者ブースでの販売や試食提供、調理販売でお祭りを盛り上げ、組合員のお祭りサポーターも商品アピールに一役買っていました。物産展や他のイベントとは一味違う、組合員・生産者・職員が一

体となって作る、「おいしい・たのしい・だいすき」のスローガン通りのあいコープならではのお祭りとなりました。



報告 おさらいカフェ



電力会社を切り替えるのは怖い? めんどくさそう? ためらう理由は何か? 小さな疑問に向き合うためのカフェを、北は石巻から南は岩沼まで4会場で開催しました。夏に開催した飯田哲也氏の講演の映像を参加者全員で観て、その後はお菓子や鍋物メニューの試食をしながらの座談会です。参加者からは、バルシステムでんきに切り替える際の事務的な質問や、発電された電気が家に届くまでの仕組みについての基本的な質問も寄せられ、有意義な会となりました。

私たちが産地と発電方法(電源構成)のはっきりした電気を選ぶこと、その電力会社に電気代を払うことが、原発や化石燃料に頼らない社会を築く最初の手段。これからこのFIT比率の高い電気を広めていきましょう。
理事 鈴木真奈美

報告 パルシステム電気



本年9月より募集を開始したバルシステムでんきの契約件数は、10月末時点で91件、現在107件(11/15現在)に至り、商品を利用している組合員で100世帯に1世帯の割合が加入していることとなります。この件数は、同じバルシステムでんきを取り扱っているバルシステムグループの各生協と比較してもトップクラス。全61営業所中、保有件数は5位、そして今年度契約件数は何と1位です(11/15時点)。組合員の皆さんの「再生可能エネルギーを選びたい」「発電産地を応援したい」の輪がさらに広がるように電気加入をお勧めしていきたいと思っております。
総務部長 大滝

おだいの
たねまき



誰もが安心して暮らせる社会を

高齢者にあたたかい地域づくり

「ささえあい入門講座・はじめの一步」報告

高齢化社会から高齢社会になりつつある今日、いつまでも元気なままでの生活はなかなか難しいもの。誰でも居場所のある地域づくりのために、地域生活支援オレンジねっと代表の荒川陽子氏をお招きして、NPO法人ゆうあんどあいサロンスペースで、地域福祉講座を10月17日・25日・11月8日の3回開催しました。

少人数で企画されたので、講師オリジナルの自己紹介カードを元にお互いに話しやすい雰囲気が出た。認知症のイメージと家族に認知症の方がいた事での体験談、資料を用いて認知症当事者の感じ方、講師の支援者としての体験談など中身の濃い話し合いの場となりました。

高齢社会の各地の取組みを上げ、認知症も含め地域で高齢者と一緒に生活できる方法



がある、皆で声を掛け合い、なにかあっても受け入れるスキルを身に付け、本当の意味での地域づくり、町づくり、社会づくりをしていきましようとして語る荒川さんのお話にとても共感が出来、またお話を聞く機会を作りたいと思いました。

明るい未来のためにご近所の高齢の方に言葉多めに話してみませんか。

ジョイケア事務局 堀越久恵



まんま通信のあるくらし

9/26 (火) 職員学習会

理事会議事録抄

水洗いしないで石けんで洗うと石けんかすができるため、予洗いが必要だと分かりました。講師の堀さんの笑いを交えた説明で、配送後トヘトヘになった職員たちも楽しく学習する事が出来ました。

今回、職員の制服リニューアルに合わせて、職員も家庭で使用する「石けん」と市販の「合成洗剤」の違い改めて学ぶ学習会を開きました。講師にパックスナチュロンでおなじみの太陽油脂の堀さんを招き、私たち新制服プロジェクトチーム3名が進行を行いました。

コップに入れた油と水に、石けんを加える事で分離をなくす実験で、石けんの界面活性剤としての役割を知りました。別な実験では、汗汚れは石けんを使わなくても洗えることを学びました。また、塩水に石けんを入れると白い塊ができる実験では、汗(塩)のついた洗濯物を

組合員やこれから組合員になる方の中には、合成洗剤や香りの強い柔軟剤などが苦手な「化学物質過敏症」の方もいるかもしれません。化学物質過敏症を発症し、これまでの生活は一変、今までのように生活ができなくなった方もいらっしゃると思います。私たちは安全安心なものをお届けするとともに、今回の制服リニューアルを機に改めて「石けんの利用促進」「香害の防止」に努め、あいこっぴが掲げる基本理念の一節にもある「加害者にも被害者にもならない」をこれからも実行していきます。

事業部 供給課 高橋咲子



酸素系漂白剤の使い方覚えまし

組織概要

(2017年10月分)

【組合員数】	13,958名
【供給高】	193,309千円
【一人実利用高】	5,147円/週
【出資金】	1,127,680千円



●おんぶの頃から参加して子が年々祭り慣れして、親が悔しがらるほど祭りを楽しんでいる。 地区委員あるある



まず市民が動きだすことで 行政にアピールしよう

仙台港の石炭火力発電所建設問題を考える会共同代表の長谷川公一東北大学教授を講師に招き、石炭火力発電の仙台パワーステーション/PSで何が起こっているのか教えて頂きました。問題点は4つ。大気汚染からくる健康被害、蒲生干潟への影響、CO2を排出、環境アセスメント逃れであること。石炭火力発電所からは硫酸酸化物、窒素酸化物、ばいじん、PM2.5や水銀等の大気汚染物質が排出されますが、効率の悪い旧式の技術を採用しているため、汚染排出の度合いが相対的に高くなっています。仙台PSから5km圏には小学校17校を含め計32校があり、住民の健康リスク特に未来の子どもの達への影響が懸念されます。東日本大震災から奇跡的に復活した蒲生干潟は水銀に汚染されてしまう可能性があるので。そして最大濃度

着地点である多賀城市内には常設の大気測定局がなく、近隣の塩竈や利府ではPM2.5は測定していません。発電された電気は東京へ行き、その利益は関西へ。そして汚染だけが被災地に残されるのです。仙台PSはわずかにその規模が対象基準を下回るため、国や自治体の環境アセスメントの対象になっていません。そのため、汚染排出データ等の重要な情報を開示しないまま着工し地元住民に十分な説明もないまま今年6月には試運転を開始し10月には営業運転が始まりました。法的な権限がないため、十分な環境対策が行政では行われていません。

あいコープは反対署名活動を5月に行い1826筆が集まりました。署名活動や運転差し止めの裁判を起すことで、仙台PSや来年着工する高松火力発電所を白紙に戻せないかもしれないけれど、これからの立地予定を抑制し、市民が動くことで行政を動かすことができるかもしれないという点でした。実際に市民の声を受け止めて郡和子仙台市長は仙台港の緊急環境調査を実施しました。例えば5km圏内の市民が汚染濃度を自主測定し生のデータを公表していくならば、行政にプレッシャーがかり測定所の設置などに結びつくかもしれません。これからのあいコープとしてできることを進めていきます。

理事 佐藤美恵



油揚げ学習会をしました



11月3日、11月2回から「あいコープの手あげ」が新登場するにあたり、菅野食品の菅野勝也工場長を招いて新油揚げの特徴を学びました。第一に油揚げに使う豆腐は、たんぱく質の多い国産大豆とミネラルたっぷりの天然にがりのみで作られています。第二に豆乳を加熱した際に出る泡を消す消泡剤を使用していません。第三に機械を使わず一枚一枚人の手で、二度（低温・高温）揚げることで中はふわふわ、外はさくさくに仕上がります。試食すると、上品な大豆の風味が口の中に広がり、市販品との違いは歴然でした。工場長お勤めの食べ方は、煮物や鍋だそうです!! 今の時期にぴったりですね(笑)みなさんもぜひご賞味ください。
青葉Bエリア 佐々木 弘大

編集後記

皆さんにとって2017年はどんな年でしたでしょうか。わたくし個人では、一言で「まず有り得ない一年」だったと鼻息を荒くして言い切れます(笑)。あいコープは組合員活動が楽しくて、大人として成長できることが嬉しくて、関わる全ての人たちが魅力的で素晴らしい場所。常に刺激を与えて頂くのですが、こんなに刺激的だった1年はありませんでした。「あり得ないけど、「有り難い」経験。やっぱりあいコープって面白い。みなさま、今年も一年ありがとうございました。どうぞ、良いお年をお迎えください。

広報担当理事 高野 恵美子

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、
配送もしくはFAX (022-284-6973) にて、
あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中!

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

組合員が利用できる電話相談

12/12	年金相談	相談員: 社会保険労務士 兵藤政行氏 相談時間: 13:30~15:30
12/12	法律相談	相談員: 弁護士 松澤陽明氏 相談時間: 13:30~15:30
12/19	くらしの相談	相談員: 消費生活専門相談員 加賀淳子氏 相談時間: 10:30~12:30
12/19	子ども相談	相談員: 宮城教育大学教授 菅井裕行氏 相談時間: 10:00~12:00
12/15	思春期相談	相談員: 臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏 相談時間: 9:30~11:30

お申込み・お問合せはジョイケア事務局へ



022

284-7277

平日 9:00~17:00

電話相談について

- ▶各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。
- ▶予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ジョイケア利用状況 (2017年9月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	50件	利用延べ人数	49名
集団託児	17件		
慶弔・出産	12件	◆ケアメイト	
電話相談窓口	3件	稼働延べ人数	59名
計	82件		



● あいコープの野菜食べてると風邪ひかないよ〜 青葉区 きぐちっち

生産者さんに **あい** に行こう! ⑬ 平田産業の巻

時間をかけてでも
安全で安心な油を提供したい



「油は水増しできないんです。加工食品や他の調味料は水を加えて増量し、添加物でごまかすことができますが、油は水とは混ざらないので、水増しできないんです。」10月5日、あいコープ日の出町センターで行った平田産業学習会で、副社長の平田さんはこうおっしゃいました。昭和30年代、町に1件はあった油屋ですが、現在は国内に28社程度しか搾油会社はなく、その油の8割は大手メーカーが占めています。もともとナタネは100%自給できていましたが、食生活の変化に伴い油の需要も増え、国産ナタネの品質が安定していなかったこともあり、輸入に頼るようになります。遺伝子組み換えナタネの輸入が始まって、平田産業は「原料は遺伝子組み換えではないナタネ」「圧力をかけるだけの一番搾り」「精製に使うのは酢と湯のみ」という大手にはできない製法にこだわってきました。抽出溶剤などを使えば、半日から1日で製造できてしまいますが、平田産業の油は1週間ほどかけて丁寧に作られています。ひとことでナタネ油といっても、中身はまるで違いますね。選ぶなら、この油にきまり。



平田産業のお二人をかこんで



平田産業

平田孝一さん(副社長) 中村竜也さん(主任)

1902年(明治35年)に初代平田源太郎がナタネの特産地である福岡県三井群に平田製油(搾油業)を興したのが平田産業の始まりです。1997年から、皆さまのおかげで、非遺伝子組み換えナタネ油専門工場として日本一の生産と販売実績を持てるようになりました。

遺伝子組み換え作物は、自然に存在しないものです。従来の品種改良と違い、種の壁を越えて遺伝子を組み込まれたものは、食べ物としての安全性に不安を感じます。

私たち平田産業は、大手メーカーにはできない、時間をかけてでも安全安心で、組合員の皆さんに喜んでいただける油を生産する、遺伝子組み換え作物不使用の専門メーカーであり続けます。



揚げる手間なし 超簡単! 大学いも



乱切りさつま芋2本(水にさらして水気を切る)/菜種油、メープルシロップそれぞれ大さじ5/を冷たいままのフライパンに入れ、中火にかけます。途中火を弱め、さつま芋に火が通ったら出来上がり。(焦げないように混ぜていると、勝手にシロップが絡んでいく感じ♪)

中村さんおすすめ 和風ドレッシング



ミキサーに醤油30cc/酢70cc/玉ねぎ20g/みりん小さじ1/砂糖15g/塩小さじ1/こしょう少々/ニンニク少々を入れて10秒ミキシング。次に菜種油を加えて10秒ミキシングできあがり。

Calendar *今後のイベント*

12/6 水

ジョイケア
老い支度と終活

場所/ 日立システムズホール仙台 エッグホール
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料

12/12 火

布おむつの会
布おむつ談議

場所/ 多賀城市山王公民館 和室2・3
時間/ 10:00~12:30 参加費/300円

12/12 火

『総代限定』イベント
遺伝子組み換えルーレット鑑賞会

場所/ あいこーぷみやぎ日の出町センター 会議室
時間/ 10:00~12:30 参加費/無料

1/18 木

あいぶらんど運動推進委員会
生協ネットワーク21リレー学習会

子どもの発達障害と

ネオニコチノイド系農薬(仮)

講師/ 黒田洋一郎氏
(環境脳神経科学情報センター代表
首都圏大学東京大学院人間健康科学研究科客員教授)
中下裕子氏
(ダイオキシン環境ホルモン対策国民会議事務局長)

場所/ エルソーラ仙台 大研修室
時間/ 10:00~12:30 参加費/無料

地区委員さん募集中!
一定例会見学も受付中~

地区委員会は

楽しい!
おいしい!
学べる!!

あいこーぷの仲間だから
本音トークができます。



お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop

(担当: 組織運営室長 豊嶋)